

アグリ筑西

2019 6月号



梅雨の季節が近づいてきました。蒸し暑い日も多いので熱中症には十分注意しましょう。

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)
筑西地域農業改良推進協議会 発行
Tel : 0296(24)9206
Fax : 0296(24)6979



筑西地域農業改良普及センターHPへアクセス！↑

協和園芸4HクラブがこだまスイカPR会を開催しました！



販売物

大型連休前半の4月29日に、筑西市の農業後継者クラブ「協和園芸4Hクラブ」が東京都台東区浅草の商業施設「まるごとにつぼん」において「こだまスイカPR会」を開催しました。当日はクラブ員5名が参加し、試食やパンフレットの配布によるPRを行うとともに、筑西市産のこだまスイカやイチゴ、アスパラガス、タケノコの即売会も行いました。

クラブ員は、自分達の農産物栽培のこだわりを紹介し、自分達が丹精込めて生産したこだまスイカやイチゴ等の農産物を積極的に消費者へ売り込みました。

こだまスイカを試食した人達からは、「とても甘くて美味しい！」との声が聞かれ、クラブ員は自身の生産した農産物に自信を深め、さらに栽培意欲向上にもつながった様子でした。

当普及センターでは、今後も地域の若手農業後継者が主体となったクラブ活動や地域農業の活性化につながるPR活動を支援していきます。



大好評だったこだまスイカの試食



ハウスナシの天敵利用講習会を開催



4月26日、下館梨共同選果場の天敵導入希望者10名と農薬メーカーや関係機関10名、計20名の参加により、天敵利用講習会が開催されました。

ハダニを捕食するカブリダニを利用した天敵資材は、国の農研機構を筆頭に各方面で研究が進んでおり、ナシだけでなく、様々な栽培品目で導入が拡大しています。

連日の摘果作業で忙しい中での講習会でしたが、参加した生産者は天敵の生態や特性について理解するとともに、実際の設置作業を通して、導入時期などについて改めて確認しました。



ハウスナシでの天敵利用については、本格的な導入が開始して今年で2年目となります。今年度は昨年よりもさらにダニ剤の散布回数を1回以上削減することや、秀品率の向上を目標に取り組みを推進することとしています。

普及センターでは引き続き、目標のクリアと生産量の向上に繋がるよう、きめ細かい支援に心がけます。

ロボット田植え機の実演会が行われました

5月2日、筑西市稲荷で「ロボット田植機実演会」が行われました。JA北つくば関城普通作連絡協議会がヤンマーの協力のもと開催し、生産者17名のほか、関係者も含め、29名が参加しました。

使用したのはヤンマーの田植機「YR8D」で、オートモードとして自動直進と自動旋回が可能で、人が全く操作をしなくても田植機が自動で移植を行います。ただし、現在の法律では人が常に田植機に乗っていないといけない事と、最初に圃場外周を1周走り圃場登録を行う事、仕上げの枕地移植については人が操作する必要があるなどの注意点がありました。

参加者からは、「折角自動になっても人が乗っていないのでは省力化に繋がらないので法制度の見直しを願う」といった意見や「将来的に人手不足解消の手段となることを期待する」などの意見が聞かれました。



栃木県へトマト先進地事例視察研修会に行きました



5月14日、栃木県下野市においてトマト先進地事例視察研修会を開催し、県西地域のトマト生産者、種苗会社やJAの担当者など、計16名が参加しました。県西地域のトマト経営では、環境制御装置などのICTを活用して収量向上を目指す生産者が増えつつあり、当研修会は栽培技術向上、他県生産者との情報交換を目的として開催されました。

研修では、JAおやま北部トマト部会の2名のほ場を見学しました。視察先の生産者から、環境測定・制御装置を活用した温度、CO2などの設定について説明いただき、病害虫防除方法、土づくりや養液配合のこだわりなどについても説明いただきました。参加した生産者から質問も多く出され、活発な情報交換が行われました。



農業学園 日程のお知らせ



普及センターでは、主に就農して間もない方を対象に、農業の基礎知識・技術や先進事例を学ぶ農業学園を開催しています。

今年度も6月に開講した後、年間10回程度、講座や現地視察などを実施する予定です。

講座内容や受講について興味のある方は、普及センター担当（米倉、安藤）までお問い合わせください。

回	時期	講座名	内容
1	6月4日	野菜講座	最先端技術 (施設園芸トマトにおける 環境制御)について
2	6月下旬	病害虫講座	農薬の適正使用と 効果的な農薬の 使い方について

※講座の開催時期や内容は変更になる場合があります。ご了承ください。

普及員のひとりごと ～滑川裕之～

4月の定期異動で着任しました。よろしくお願ひします。普及センターのある合同庁舎の4階からは、きれいに穂が出揃った転作麦と水田で作業する大型機械が見られます。昨年勤務していた県北の中山間地域に比べ、平坦で広大な農地を見るにつけて、筑西地域が県を代表する農業地帯であることを改めて実感しています。

編集後記

ナシの摘果作業を体験させてもらいました。上を向いて行う作業のため、たった1時間の作業でしたが首が痛くなりました。生産者の身になって考えるためにも、実際に作業を行ってみる必要性を感じました。
安藤